

各地区での主なやりとり内容をご紹介します！

平成28年度 村政懇談会



6月21日から7月5日にかけて、東海村自治会連合会と村との共催による村政懇談会が、各コミュニティセンターで開催されました。懇談会では、村長から、今年度の村政運営の基本方針等について説明がされた後、各地区から事前に提出された質問や要望に対する回答の報告や、参加者による自由質問が行われました。

今回は、各地区で行われた懇談の内容(一部抜粋)後編をご紹介します。なお、詳細は村公式ホームページに掲載の議事録をご覧ください。

■問い合わせ 自治推進課 自治推進担当 ☎282局1711 内線1461



【真崎地区】

期日 ▼ 6月29日
場所 ▼ 真崎コミュニティセンター
参加者 ▼ 114人

舟石川3区住民 ▼ 村内には、原子

力科学館や原子力発電所、J・PARCなど、原子力科学に関する施設が多くあるが、どこかの施設で、それらの目次の案内をできないか。

教育次長 ▼ 村が現在検討を進めて

いる(仮称)歴史と未来の交流館)では、建物を拠点として、村内に点在する施設や遺跡等をつなぎ合わせる、東海まるごと博物館としての役目を担うこととしており、その中で目次の機能も担えるのではないかと考えている。

舟石川3区住民 ▼ 村長説明の中で

「国体を契機として、村の良いところがPRしていきたい」との話があったが、村民一人ひとりが村の良さをPRできるような、村の良いところがどんなところなのか、資料等にまとめてほしい。

村長 ▼ 私自身も、村民にまず村のことを理解してもらうことが大切だと思っている。村を説明するまとまった資料を作って、村

民誰もが入手できるようにした方が良いと思うので、意識して作っていききたい。

真崎区住民 ▼ 自治会加入率を高める方法について、例えば、不動産業者から新規入居者に自治会

加入の案内チラシを配布してもらうなど、村と地元の不動産業者、自治会の三者で協力して勧誘できるシステムを検討できないか。

村民生活部長 ▼ 行政と自治会連合

会も、自治会加入の促進について検討しているので、ご意見として伺い、精査していきたい。

舟石川3区住民 ▼ 地域の公園に、

車で来る方がとても多く、路上に駐車されると危ない。近隣に駐車場を確保できないか。

建設農政部長 ▼ 区画整理地内の公園

は徒歩で行く目的の公園であり、駐車場がないのが現状である。ただし、実際に危険があるのであれば、公園内部の一角を駐車スペースにすることもできるので、現場を確認した上で検討させてもらいたい。



多くの地区では、どんなことが話題になったのかな？

【中丸地区】

期日▼7月4日
場所▼中丸コミュニティセンター
参加者▼112人

事前質問▼村道「勝木田下の内線」

（動燃通りから駅東大通り経由で、原研通りまでを結ぶ道路）の建設に伴い、特に朝晩の交通量の増加が予想される。通学する子どもたちへの影響や、交通事故の増加が懸念されるが、交通安全対策について、村の具体的な取り組みを伺いたい。

建設農政部長▼今年度は、「勝木田下の内線」のうち、動燃通りと駅東大通りとの交差点改良工事を行い、来年度の供用開始を目指している。周辺には、小中学校や村立東海病院等、村の重要施設が多く存在しており、多くの方が利用する交差点となる。村でも、安全のためにこれらの交差点に信号機が必要であると考えており、平成26年度に県警に信号機の設置を要望したところ。両交差点に信号機を設置できるかどうかは分からないが、子どもたちの安全が第一であることは理解しており、より安全な交差点の形についても県警と共に計画していく。

建設農政部長▼ほしいものは、ひたちなか市と那珂市、東海村でほしいも協議会をつくっており、ブランド化に向けて協議している。今年度は、ほしいもの安定生産と品質の確保を目指し、ほしいもの生産・加工の過程をマニュアル化しようと取り組んでいる。また同時に、農家や農協とタイアップしながら、土壌分析を進め、質の高い原料芋を作れる方法を探りながら、ブランド化に向けて取り組みを進めている。

緑ヶ丘区住民▼今年度の村の取り組みの中に「東海村のほしいもブランドの確立を目指す」とあるが、どのような方法で進めていくのか。

建設農政部長▼ほしいものは、ひたちなか市と那珂市、東海村でほしいも協議会をつくっており、ブランド化に向けて協議している。今年度は、ほしいもの安定生産と品質の確保を目指し、ほしいもの生産・加工の過程をマニュアル化しようと取り組んでいる。また同時に、農家や農協とタイアップしながら、土壌分析を進め、質の高い原料芋を作れる方法を探りながら、ブランド化に向けて取り組みを進めている。

建設農政部長▼今年度、交番は東海駅西口に移転する予定で、県で予算化して進めると聞いている。

原子力機構長堀区住民▼東海駅西口と東口の整備を進めていく上で、できれば駅周辺に交番等を設置してもらいたい。

建設農政部長▼今年度、交番は東海駅西口に移転する予定で、県で予算化して進めると聞いている。

舟石川一区住民▼自治会加入率の問題で、（自治会を）抜けた方々加入しない方の話を聞くと、魅力がないというのが一つある。何のために加入するのか、建前

【舟石川・船場地区】

期日▼7月5日
場所▼舟石川コミュニティセンター
参加者▼140人

船場区住民▼広域避難計画について、バスで避難することが前提として書かれているが、いざというときにそれだけのバスを東海村に集めることができ

村民生活部長▼5月に開催した（広域避難計画の）説明会においても、そのような意見が多数出ている。村でも、バスの問題は大きな問題だと認識しており、現在、国土交通省や県などとバスの手配ができる状況をつくり出せないか検討している。村単独で決められることではないため、国や県と共に協議している。まずは基本のベースとして現在の計画があって、それをいろいろな方と話し合いを進めながら直していくという方法で、皆さんの望む形に近い計画を作り上げていきたいと考えている。

村民生活部長▼5月に開催した（広域避難計画の）説明会においても、そのような意見が多数出ている。村でも、バスの問題は大きな問題だと認識しており、現在、国土交通省や県などとバスの手配ができる状況をつくり出せないか検討している。村単独で決められることではないため、国や県と共に協議している。まずは基本のベースとして現在の計画があって、それをいろいろな方と話し合いを進めながら直していくという方法で、皆さんの望む形に近い計画を作り上げていきたいと考えている。

村長▼これは本当に難しい問題で、いろいろ考えてはいるが、具体的な施策は思いついていない。自治会についての関心が薄くなってしまっている。自治会加入率助け合い」といっても、響かないところがある。それよりも、もっとメリットを出して、「自治会加入率得」と思ってもらうことが必要だと思つて。例えば、自治会に入ってから何かをするとポイントがたまって買い物に使えるなど、差別化をしなければならぬと思う。近年は、働いているお母さん方も増えているので、地域でボランティアとなつて活動している方々の後継者をつくるためにも、そのようなことを考えていく必要がある。

舟石川一区住民▼自治会加入率の問題で、（自治会を）抜けた方々加入しない方の話を聞くと、魅力がないというのが一つある。何のために加入するのか、建前

